

事 例 表

番号	8	国立公園名	富士箱根伊豆国立公園
事例名	分岐点における誘導標識の未設置又は一部方向の案内の不備 －目的地の地名に整合がとられていないもの－		

【事例の内容】

歩道（東海自然歩道線）の平野から花の都公園までの区間のうち、大平山山頂を含む 2.65 km においては、平成 21 年度国立公園整備（直轄）事業により、階段、誘導標識などの公園施設が整備されている。このうち、関東管区行政評価局が調査した誘導標識 5 基においては、「山中湖花の都公園」が行き先表示として記載されている。

一方、歩道（東海自然歩道線）の大平山から花の都公園までの区間に設置されている既存の誘導標識（6 基）には、「忍野八海」が行き先表示として記載されており、同事業により整備された誘導表示の行き先表示「山中湖花の都公園」と不整合となっている。

【関係写真】

東海自然歩道と大出山・山中湖方面の歩道との分岐点に設置されている誘導標識（平成 21 年度国立公園整備（直轄）事業実施区間内）

既存の誘導標識



既存の誘導標識



既存の誘導標識



事 例 表

番号	9	国立公園名	秩父多摩甲斐国立公園
事例名	ベンチの損傷		
【事例の内容】 登山道（三峰雲取山線の「地藏峠北方」及び里宮平金峰山線の「大日岩」）において、木製ベンチが損壊・腐朽している。			
① 地藏峠北方の状況（三峰雲取山線） 【写真】			
			
② 大日岩の状況（里宮平金峰山線） 【写真】			
			

事 例 表

番号	10	国立公園名	秩父多摩甲斐国立公園
事例名	登山道の複線化		
<p>【事例の内容】 木の根やえぐれている箇所等を避けて登山者が通行することにより、登山道が複線化している。一部区間では登山者が正規のルートを通行することを促すため、ロープが張られている。</p>			
<p>【関係写真】</p>			
<p>雲取山への登山道（三峰から。前白岩山付近）</p>		<p>（大ダワ付近）</p>	
			
<p>甲武信ヶ岳への登山道（千曲川源流歩道）</p>		<p>（歩道内のえぐれている場所）</p>	
			
<p>金峰山と瑞牆山間の登山道</p>		<p>（通行帯の両側にロープが張られている区間）</p>	
			

事 例 表

番号	11	国立公園名	秩父多摩甲斐国立公園
事例名	埋設されたゴミの撤去		
<p>【事例の内容】</p> <p>秩父多摩甲斐国立公園の特別保護地区内に設置されている破不山避難小屋周辺には、廃棄されてから相当年数が経過しているとみられるガラス片、空き缶、廃材等が散乱している。</p>			
<p>【関係写真】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>空き缶、廃材等が散乱している場所の全景</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>散乱している空き缶、廃材等</p>  </div> </div>			

事 例 表

番号	12	国立公園名	富士箱根伊豆国立公園
事例名	廃材等の放置		
【事例の内容】 東海自然歩道が青木ヶ原樹海を通過する区間（特別保護地区及び第1種特別地域）において、①老朽化し廃棄された公共標識の部材、②不要となった陶器製円筒型灰皿（完全な形で残っているもの複数及び同型の灰皿が何らかの理由で砕けたものと思われる破片）が撤去されずに放置されている。			
【関係写真】			
			

事 例 表

番号	13	国立公園名	秩父多摩甲斐国立公園
事例名	実際の歩道の位置が公園計画に定められた位置と異なるもの		

【事例の内容】

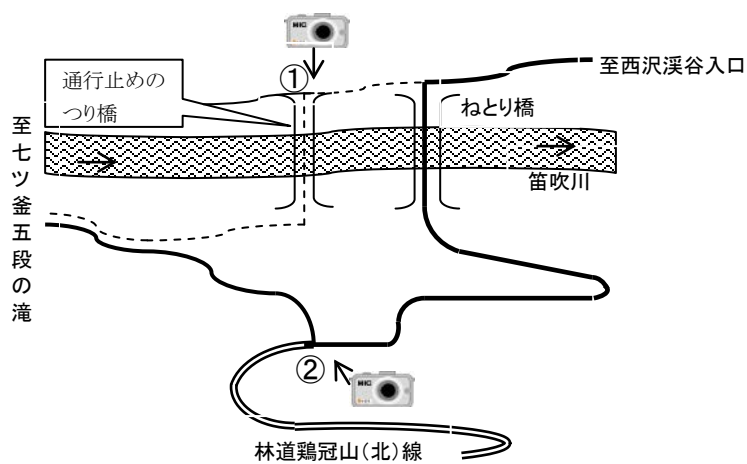
歩道（西沢溪谷線）のうち、ねとり橋前後の区間については、秩父多摩甲斐国立公園の公園計画で定められている位置と異なる位置に所在しており、当該区間を案内する誘導標識も整備されている。

一方、公園計画で定められている歩道については、途中のつり橋が通行止めとなっている。

【概略図及び関係写真】

西沢溪谷線歩道ねとり橋付近

（点線：公園計画上の歩道、実線：実際の歩道（一部林道鶏冠山（北）線と共用））



①公園計画上の歩道上に位置する通行止めのつり橋



②実際の歩道上の誘導標識



事 例 表

番号	14	国立公園名	富士箱根伊豆国立公園
事例名	実際の歩道の位置が公園計画に定められた位置と異なるもの		

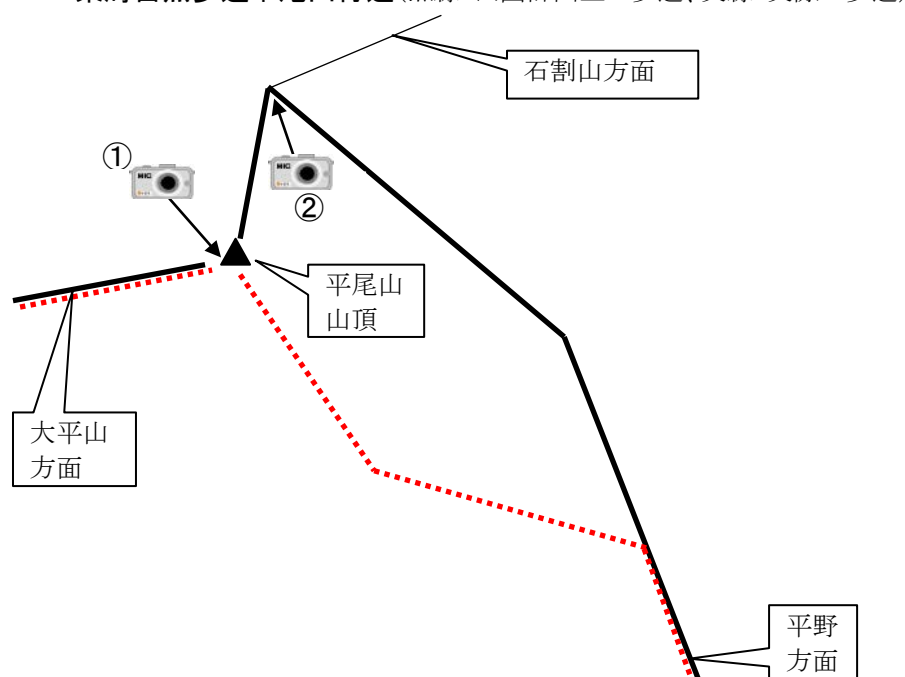
【事例の内容】

歩道（東海自然歩道線）のうち、平尾山山頂付近の区間については、富士箱根伊豆国立公園（富士山地域）の公園計画で定められている位置と異なる位置に所在しており、当該区間を案内する誘導標識も整備されている。

一方、公園計画で定められている歩道については、やぶが深く、通行が困難となっている。

【概略図及び関係写真】

東海自然歩道平尾山付近（点線：公園計画上の歩道、実線：実際の歩道）



① 公園計画上の歩道（やぶで覆われている）



② 実際の東海自然歩道上の誘導標識

